

静岡県理学療法士(協)会
代議員立候補者

定 数 : 11 名

立候補者数 : 11 名



氏名 菅野 武志

都道府県士会 静岡県

年齢 40

勤務先名称 浜名病院

協会・士会役員歴

平成25年度	静岡県理学療法士会	生涯学習部	部員
平成26年度	静岡県理学療法士会	教育・管理系専門部会	西部地区管理系部長
平成27年度	静岡県理学療法士会	教育・管理系専門部会	部員
平成28年度	静岡県理学療法士会	政治活動参加推進委員会	
平成29年度	静岡県理学療法士会	教育・管理系専門部会	副部会長
平成28～29年度	日本理学療法士協会		代議員

立候補の趣旨

近年、ICT・IoT・AI・再生医療等の科学的発展は目まぐるしく、人間が行う職域の衰退が懸念されております。また社会は極めて流動的で、ダイバーシティーを受け入れていく必要があるなかで、我々理学療法士はその変化に順応しているといえるのでしょうか。毎日単位だけをこなすような業務の繰り返しに、楽しみややりがいを感じて感じるのででしょうか。

この先、特に若年層の理学療法士達が、理学療法士である事に幸せと誇りが持たずして、国民の健康寿命の延伸や生活・社会復帰に向けた、専門的な支援と質が担保されるか否かが問われているように感じます。

既に社会保障制度は、人口増加バブルの崩壊によって持続が困難になってきております。我々理学療法士は、社会のコンプライアンスにしっかりと応える事でその職能を守り、地域行政や生活支援の場へと新たな職域を確保して、今後も安定した所得と雇用を確保していかなくてはなりません。もちろん協会に属し研鑽している会員達が、しっかりとインセンティブが感じられる社会でなくてもなりません。その為には、協会は日本理学療法士連盟と共に両輪一体となって、積極的な政治活動にも参画し、真の組織力を駆使して、社会に大きく発信できるだけの力を持ちうる団体とならなくてはなりません。

私は代議員としてそれらをしっかりと見守ると共に、全力で支えていきたいと思い立候補させていただきました。皆様の力と勇気を私にお貸し願います。



氏名 山内 一之

都道府県士会 静岡県

年齢 56

勤務先名称 静岡医療福祉センター児童部

協会・士会役員歴

【士会役員歴】
 平成3～4年度 小児研修部長、平成5～8年度 福祉部長、平成11～12年度 選挙管理委員長、平成23年度 教育部長、平成24年度 新人教育部長、平成25～26年度 理事(教育局長)平成26年度 新人教育部長兼務、平成27年度～現在 理事(事務局長)平成28年度～専務理事(事務局長) 第15回静岡県理学療法士学会副学会長(平成23年度) 第18回静岡県理学療法士学会学会長(平成26年度)

【協会役員歴】
 平成28年～29年度代議員
 その他特記事項無し

立候補の趣旨

静岡県理学療法士会の事務局長を平成27年から務め、現在は専務理事・事務局長です。役員活動を通じ私自身も多くの事を学ばせていただき今も進行形ですが、平成28年度にかけての公益社団法人移行作業は貴重な経験・財産になりました。

公益移行をいたしました。成長途中の組織です。会員サービスも含めて一歩一段と足場を固めている段階と言えます。

また、地域包括ケアシステムの本格始動を控えての士会機能の整備は言うまでもありませんが、多産時代にある理学療法士の質的担保等を考えても士会の役割の重要性をこの3年間の事務局業務を通して痛感しております。

協会と士会は車の両輪でありますので、その連携を基軸に地域包括ケアシステムに限らず協会が示す基本方針を傾聴し、士会(事務局)機能を理解した上で建設的意見や士会力を発信する。そのような協調活動を推進する立場と橋渡し役として、立候補を決めました。宜しく願いいたします。



氏名 和泉 謙二

都道府県士会 静岡県

年齢 54

勤務先名称 共立蒲原総合病院

協会・士会役員歴

【士会役員歴】平成元年度以降 広報部長、研修部長、生涯学習部長、教育部長、学会部長、生涯学習部長、教育局長、規約審議委員長を務める。平成19年度より事務局長、平成25年度より会長。第6回静岡県理学療法士学会会長（平成12年度）。第37回日本理学療法士学会準備委員（平成14年度）、第22回東海北陸理学療法学会大会準備委員長（平成18年度）、第48回日本理学療法士協会 全国学術研修大会準備委員長（平成25年度）。
【協会役員歴】平成26年度～ 代議員、平成25年度 指定規則検討特別委員会委員、平成26年度 士会強化検討特別委員会委員、平成27年度～ 将来構想戦略会議災害対策本部委員、平成29年度～ 議事運営委員

立候補の趣旨

平成19年以降、静岡県理学療法士会の事務局長を3期6年、会長を2期4年務めさせていただいている中で、士会組織力強化に関わる業務では、法人格の取得（有限責任・一般社団・公益社団）、専用事務所の設置や専従職員の雇用、他団体との協力関係構築、リハ専門職団体協議会の立ち上げ、J R A T地域支部設立への協力等に携わらせていただきました。
2025年を地域包括ケアシステムが成立する第一段階の目標地点として捉え、行政を含め理学療法士が多方面で活躍できるよう対外的な交渉のみならず、会員の知識あるいは技術を高めるべく研修体制の見直しを行っております。
また、将来にわたって理学療法士が継続的に雇用される保障を担保するため、関連諸団体との関係構築や行政への働きかけ、あるいは県議会議員との情報交換等を主に活動しております。
今後は、さらに高まるであろうことが予測される（公社）日本理学療法士協会と各都道府県理学療法士会が連携と協調について、分業化を図れる部分から業務の移行を進められるよう受け皿を整えていきます。
さらには、急激に増加を続ける理学療法士の資質向上あるいは雇用安定を図っていけるよう体制を整えていきます。宜しくお願いいたします。



氏名 小山内 隆

都道府県士会 静岡県

年齢 54

勤務先名称 熱川温泉病院

協会・士会役員歴

平成25年～一般社団法人 静岡県理学療法士会理事
（3期5年目 現学術生涯学習担当常務理事兼学術局長）
平成26年～公益社団法人 日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

私はリハスタッフが働きやすい職場・地域を作るため、「病院・施設一病院・施設」「医療一介護」「養成校一病院・施設」など、必要な連携を考えていきたいと思い、平成25年に静岡県理学療法士会の理事に立候補し、現在は学術生涯学習担当常務理事兼学術局長（3期5年目）として県士会活動を行っています。
また、平成26年には日本理学療法士協会代議員に立候補させていただきました。代議員として活動した4年間は、日本理学療法士協会活動の理解や支援、県士会活動の質の向上や効率性などの検討、県士会会員への啓発など行ってきましたが、まだまだ不十分だったと感じています。
今後も、県士会活動の質を上げ、県士会の理学療法士や地域住民に、より意味のある活動を提供するためには、私が日本理学療法士協会代議員として活動することが必要と感じ、今回の選挙に立候補させていただきました。
これからも頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。



氏名 加藤 倫卓

都道府県士会 静岡県

年齢 42

勤務先名称 常葉大学

協会・士会役員歴

平成25年～26年 第30回東海北陸理学療法学会 学術局企画部長
平成27年～29年 第21回静岡県理学療法士学会 企画局長
平成27年～ 静岡県理学療法士会 専門領域部内部障害系部会長
平成29年～30年 第2回日本心管理理学療法学会 広報部長
平成29年～ 日本心管理理学療法学会 運営幹事
平成29年～ 静岡県理学療法士会 理事

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補致しました常葉大学の加藤倫卓と申します。現在、静岡県理学療法士会の理事として職能に関する研修会の企画および開催業務を中心に実施しております。また、日本心管理理学療法学会では運営幹事として、学術集会の運営および各種研修会の企画運営を行っています。医療を取り巻く環境の変化に伴い、理学療法の医療技術や業務体制は日進月歩で変貌しています。日本理学療法士協会の取り組みや今後の理学療法の情報を得ることにより、所属している県士会および分科会の活動をよりよいものに繋げて行くことを目的に立候補致しました。また、県士会員および所属分科会員の代表として協会に意見を反映させて行くという責務があると考えておりますので、会員の意見を十分にくみ取り的確な判断をしていきたいと思っております。



氏名 大石 義秀

都道府県士会 静岡県

年齢 44

勤務先名称 静岡医療科学専門学校

協会・士会役員歴

平成21年～静岡県士会社会局広報PT週間部長（3期6年）
平成27年～静岡県士会理事（教育局長）
平成29年～静岡県士会常務理事（地区事業担当）

立候補の趣旨

養成校教員として学生に対する養成教育をするとともに臨床業務と臨床教育に携わる中で、多くの課題を実感しております。また、県士会役員を務めさせていただく中で、諸先輩方が築き上げていただいた理学療法士の世界を社会や時代に合わせ変化・発展させ、将来長きにわたり社会に必要とされるより良い医療専門職にしていきたいと考え、立候補させていただきます。

現在の理学療法士に求められる役割は、急性期から生活期・予防分野までの幅広い領域への対応、費用対効果を求められる個別理学療法に対応する専門性の高い知識と技術の習得、多職種連携、組織・社会の課題を解決する能力など多岐にわたります。また、コミュニケーションスキルを初めとする社会的スキルや自ら学ぶ力も求められ、養成校を卒業後に即戦力となるのが難しい時代となっております。一方、入学する学生の特徴としては、「間違えたくない」、「解法が一つの定型的な問題に対する正答率が高いが、知識を関連づけて考える非定型的な問題に対する正答率が低い」などの特徴があります。理学療法士の質の低下が叫ばれる中、社会的ニーズの高まる状況に相応しい理学療法士を育てていくためには、卒前・卒後の教育体制を整えいくことが不可欠になります。そのため取り組みを、養成校教員という立場から養成教育の質を向上させるとともに、臨床の現場でも教育管理の知識と技術を活かせるような取り組みを実施していきたいと考えております。

卒前・卒後教育などの課題を解決し、将来にわたって理学療法士が国民の保健・医療・福祉に寄与するために、協会が推進する事業の一端を担う活動をさせていただきます。よろしくお願いたします。



氏名 川村 浩二

都道府県士会 静岡県

年齢 50

勤務先名称 富士宮市役所

協会・士会役員歴

平成11年度～平成12年度 静岡県理学療法士会 理事(福祉部長)
平成19年度～平成26年度 静岡県理学療法士会 社会局渉外福祉部長
平成27年度～平成28年度 静岡県理学療法士会 理事(職能局長)
平成29年度～ 静岡県理学療法士会 常務理事(職能公益事業)

立候補の趣旨

理事・部長として、県民に対する新規事業を企画・立案・実行してきました。これらを継続するとともに、今後は県士会員の声を聞き、直接協会本部へ届け県士会員の職能の向上に資する事業を協会と共同し展開するため代議員に立候補させていただきます。皆様のご支援よりしくお願いいたします。



氏名 飯尾 晋太郎

都道府県士会 静岡県

年齢 34

勤務先名称 浜松市リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

平成25年度～平成28年度 (社)静岡県理学療法士会 職能局 部員
平成29年度～ (公社)静岡県理学療法士会 事務局 行政企画部長

立候補の趣旨

私は、平成25年より静岡県理学療法士会の職能局部員として診療報酬改訂に関わる研修や介護予防・地域包括ケア推進リーダー研修等の運営活動に携わって参りました。また、静岡県では平成28年よりPT・OT・STが協働で静岡県リハビリテーション専門職団体協議会を設立し、私も協議会の役員として地域包括ケアシステム構築に向けた行政との連携を強めるべく活動を続けております。

特に、この2年間は平成30年の医療・介護診療報酬同時改訂に加え、地域包括ケアシステムの本格稼働に向けた行政の動きが活発化しており、「地域・社会のために理学療法士がどのように活躍できるか」を非常に考えさせられました。事実、我々に対する行政からの期待は大きく、市町村が行う介護予防事業や地域ケア会議に加え、地域に合わせた街作りの中で理学療法士の存在意義を示す絶好のチャンスであると確信しております。

このような時代の変革の中、社会からの期待に応えるために我々に必要な事は、「理学療法士の組織力を高め、未来で活躍ができる人材を育てる」ことではないでしょうか。会員数が急増した中で、各職場や個々の会員のもとへ本会の主旨や方針が届きにくい状況であり、組織として本当に同じ方向を向いているか疑問に感じる事があります。私達30代半ばの世代は本会会員のちょうど中間にあたり、諸先輩方と次世代の若手理学療法士とを繋ぐ役割を担っております。身近な声に耳を傾け、後進が様々な領域で活躍できるような組織体制が築けるよう活動を続けたいと考えています。

まだまだ若輩者ではございますが、皆様のご期待にお応えできるよう鋭意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



氏名 高木 亮輔

都道府県士会 静岡県

年齢 32

勤務先名称 リハビリテーション中伊豆温泉病院



氏名 山下 裕太郎

都道府県士会 静岡県

年齢 39

勤務先名称 JA静岡厚生連遠州病院

協会・士会役員歴

H. 26 静岡県理学療法士会 教育管理系専門部会 東部支部役員
 H. 27～H. 28 静岡県理学療法士会 教育管理系専門部会 副部長
 H. 26～H. 28 静岡県理学療法士会 教育部 新人教育部 副部長
 H. 29 静岡県理学療法士会 教育管理系専門部会 部長
 H. 29 静岡県理学療法士会 理事

協会・士会役員歴

平成21年～平成22年 静岡県理学療法士会 西遠地区 社会公益担当
 平成23年～平成24年 静岡県理学療法士会 西遠地区 支部長
 平成25年～平成28年 静岡県理学療法士会 社会局 公開講座部長
 平成29年～ 静岡県理学療法士会 理事（生涯学習局長）

立候補の趣旨

静岡県理学療法士会の役員として活動している中で、日本理学療法士協会の運営方法に疑問を感じることも少なくありません。理学療法士の質向上を目的に活動して下さる皆様も同様に、多種多様な意見を抱えていることと思います。そのような思いを、協会へ届ける繋ぎ役を担えるように努めて参りたいと思います。

立候補の趣旨

理学療法士を取り巻く環境は日々変化しております。そして今後の理学療法士の職域を拡大し、守っていくためには迅速かつ適切な対応が求められています。社会の中で必要とされる理学療法士の能力とは何かを追い求め、変化する時代の流れや情報を把握するとともに、現場レベルに落とし込みながら活動していきたいと考えています。

現在は県士会理事 生涯学習局担当として、将来を担う理学療法士の育成の場を考える立場であるため、今後の理学療法士に必要な知識、技術のみならず、社会の中で必要な人間力やコミュニケーション能力の拡大に向けても活動を展開していきたいと考えています。

このような考えのもと、協会の意向をふまえつつ、県士会会員へのつなぎ役として、代議員へ立候補させていただきたいと思っております。



氏名 菊池 和幸

都道府県士会 静岡県

年齢 37

勤務先名称 訪問看護ステーション頭陀寺

協会・士会役員歴

平成25年～ 一般社団法人静岡県理学療法士会理事（職能局・地域包括ケア担当）
平成26年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 静岡県代議員
平成29年～ 公益社団法人静岡県理学療法士会副会長

立候補の趣旨

この度代議員に立候補させていただきます、静岡県理学療法士会の菊池和幸でございます。私は平成25年より静岡県理学療法士会理事を務めさせていただき、約5年の間、皆様の温かいご指導、ご支援を頂戴しながら、地域包括ケアシステム推進委員長、静岡県リハビリテーション専門職団体協議会事務局長、静岡県理学療法士連盟監事等多くの職務を経験させていただきました。現在は、副会長として、県行政・医師会はじめ他団体へ向けての士会活動を展開させていただいております。

我々理学療法士を取りまく環境は、診療報酬や介護報酬の改定に合わせて、目まぐるしく変わっていきます。そのような状況の中で他団体は職域確保のために奔走しています。近年、介護予防・自立支援・地域リハにおいて理学療法士の活用促進が全国で展開されておりますが、「求められているのに結果が出せない」。このような状況は絶対に避けなければいけません。結果を出さなければ理学療法士の活動の場は徐々に他団体に奪われてしまいます。私たちは、これまでの歴史の中で培ってきた技術と知識を用いて、社会に貢献していかなければなりません。多職種協働の中でも、理学療法士としての存在意義を強く示し、理学療法士の確固たる地位を確保していくことが我々の使命であると考えております。

「実行力」と「結果」。常に攻めの姿勢で、日本理学療法士協会の発展と職能団体としての底上げのために、微力ながら御協力させていただきたいと思ひ立候補させていただきます。皆様の、御支援、御協力を何卒宜しく御願致します。